

科目名	ミュージカル表現法Ⅱ	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	神戸 珠利	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

ミュージカルの大切な三大要素の一つであるダンスの基礎を学びます。ストーリーの流れの中で様々な役を演じるにあたり、ダンステクニックだけでなく、ダンスを通しての役柄の演じ方など様々な感情を表現するための表現法も習得し、どんな役にも対応できるよう、テクニック及び感情表現豊かなダンサーを目指します。また、ダンスだけでなく、舞台の出入り、挨拶などの様々なマナーも身に付けます。

＝履修の条件と学習の方法＝

身体を動かすことが主になるため、日常生活から怪我などに注意すること。又、授業はウォーミングアップから始めるため、故障しないように時間を厳守すること。授業時間外にもできるだけミュージカル、ダンスなどの作品に積極的に触れる時間をもつこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 「正しいウォーミングアップ」 身体のほぐし方、筋肉の鍛え方、各部位の正しい使い方。
- 3回 「ダンステクニック1」（ステップ）ステップを踏むうえでのバランスの移動の仕方、美しいポーズのとり方
- 4回 「ダンステクニック2」（ターン）回転するうえでの身体の軸のとり方、スポットのつけ方
- 5回 「ダンステクニック3」（ジャンプ）より高く、より美しく飛ぶためのタイミングのとり方。
- 6回 「音楽表現1」 様々なジャンルの音楽にあった踊り方、表現の仕方
- 7回 「音楽表現2」 上に同じ
- 8回 「音楽表現3」 上に同じ
- 9回 「帽子の使い方1」 帽子を使って振付
- 10回 「帽子の使い方2」 前回に続き、帽子を使った振付
- 11回 「帽子の使い方3」 帽子の使い方1、2の振りを踊り込む
- 12回 「小道具椅子の使い方1」 椅子を使って振付
- 13回 「小道具椅子の使い方2」 前回の振付を踊り込む
- 14回 「舞台上の出入り、ルベランス」 舞台での出方、ハケ方、ルベランス（おじぎ）の仕方
- 15回 「総まとめ」 7回～14回までの総復習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席率 50%、授業開始日から終了日までの個々の上達の度合を見込んだ上での最終日の仕上がり（小道具の扱い方、表現力の向上がみられるかどうか）を 50%として評価します。

＝テキスト（必携）＝

特になし